令和６年
２月号

ロイヤル通信

2月

２月に入り、暦の上では春の始まりですが、、まだまだ寒さは増すばかり。暖冬につづき春の暖かさも早足で近づいてきてくれるのでは、と期待が高まります！

節分の日
毎年お手製の恵方巻やちらし寿司！美味しそう😋

鬼は外!!
福は内!!

節分

おにはそと!
ふくはうち!

やる気！頑張るぞ～！

福は～内～
福の神は、美味しいおやつを配ってくれています💛

優しい鬼さん！お疲れ様です～

窓からのぞいているのは‥‥鬼！鬼の登場！

ノーリフティングケアの取り組み

ノーリフティングケア先進施設として、県より依頼を受け、新規取組施設実地研修を行いました。どの施設の方も沢山の質問や動画に収めるなど意欲的に参加してくださいました。今までの歩みと取り組み内容、そして実践的な福祉機器と身体の使い方などをお伝しました。より広く普及して欲しいと推進委員のメンバーにとっても大変有意義なものとなりました。

少ない人員 機器使用で対応

変わる介護現場

事故防止、職員の腰痛発生減へ

大分合同新聞に掲載されました！

大分県内の有料老人ホームでは数少ない「ノーリフティングケア」に取り組んでいる施設として大分合同新聞より取材を受けました。

2018 年に大分県でも普及が始まった“ノーリフティングケア”
同年、ロイヤルでも清松施設長が参加した研修をきっかけに取り組みが始まりました。当初は今までのやり方を変える事や仕事量が増えるのではという職員からの懸念や反発もありましたが、まずは施設長を中心とした推進チームの立ち上げ、必要な研修を順次受けることで、“介護者と利用者双方にとって、メリットが　大きい”と実感する職員が増えてきました。さらには利用者の不安や不快感の　軽減が目に見えて実感できたことで、今では、以前の働き方は考えられないほど意識改革が進んでいます。

清松施設長　「職業病といわれる腰痛の軽減や人手不足を改善し、利用者や介護士から選ばれる施設にしたい一心で進めてきました。他施設にも早急に広まって欲しいです。」

推進チーム技術教育担当の佐藤真紀　「以前は、午前中に入浴介助をすれば、午後はくたくたに疲れていました。今は、心身ともにゆとりが大きく、より楽しく働けるようになりました。明るく前向きになった利用者様も増えたと感じています。」